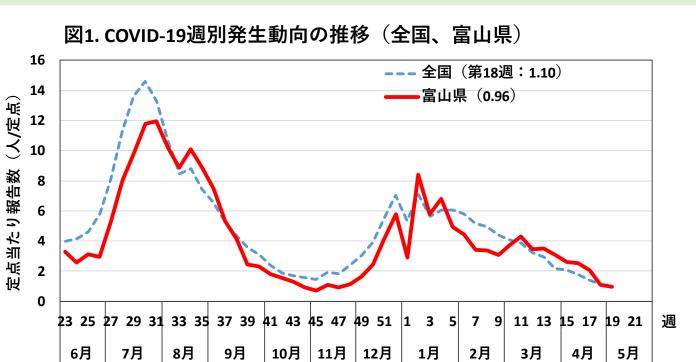
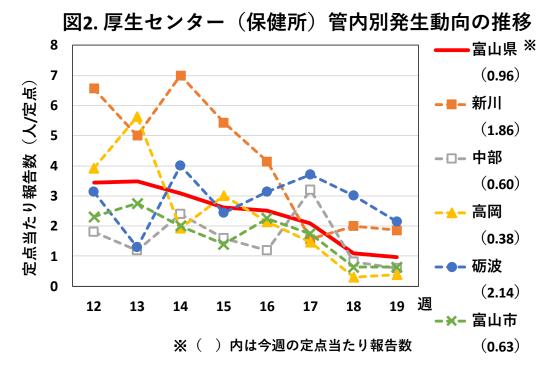
## 新型コロナウイルス感染症の発生状況(富山県)

【第 19 週( 2025/5/5~5/11 ) 感染症発生動向調査速報値( 2025/5/14 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数: 46 人、定点医療機関当たり 0.96 人

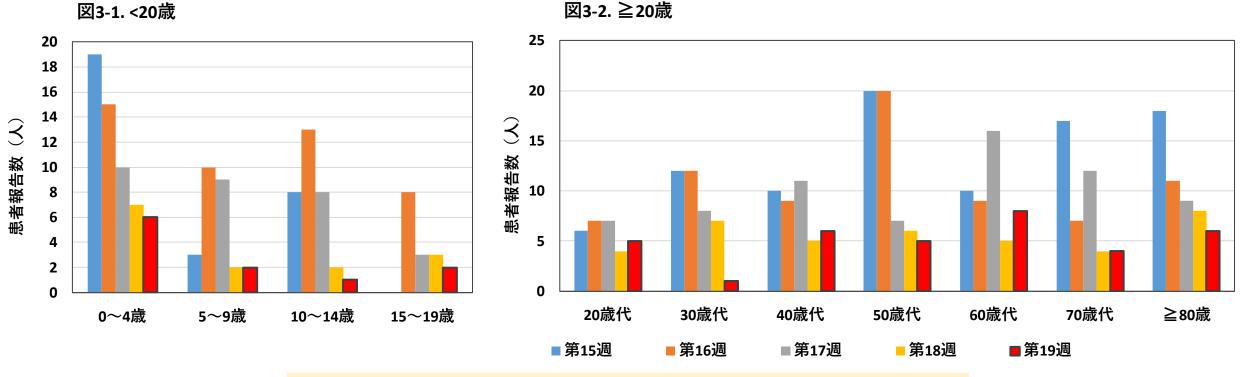
※急性呼吸器感染症定点(旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)





- 今週の定点医療機関当たり報告数は0.96人/定点であり、先週(1.10人/定点)から減少した(図1)。
- 厚生センター·保健所管内別にみると、高岡管内を除くすべての管内で、先週から減少または横ばいであった (図2)。

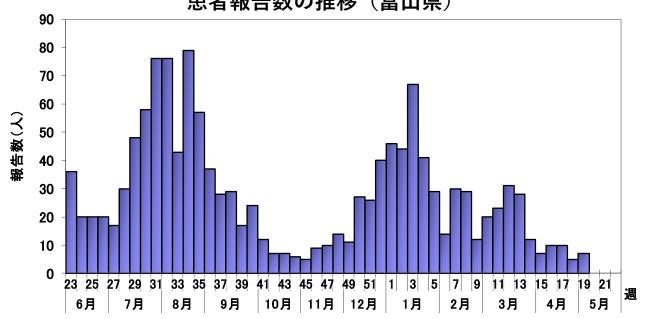
## 図3. 年齢階級別COVID-19報告数の推移(富山県)



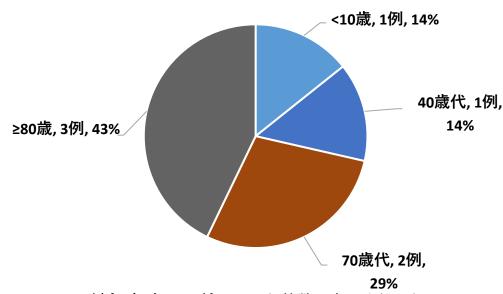
※定点医療機関は小児科が多い(小児科:29定点、内科:19定点)ことから、 小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

• 20歳代、40歳代、60歳代を除くすべての年代で、先週から減少または横ばいであった。

## 図4. COVID-19入院サーベイランス 患者報告数の推移(富山県)



## 図5. COVID-19入院サーベイランス 年代分布(第19週、7例)



※割合(%)は四捨五入した整数で表記されるため、 合計が100%にならない場合がある。

- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象とするCOVID-19入院サーベイランスでは、第19週に7例の入院報告があり、先週(5例)から増加した(図4)。
- 患者の年代は、10歳未満、40歳代が各1例、70歳代が2例、80歳以上が3例で、70歳以上が72%を占めた(図5)。
- 県内のCOVID-19の患者報告数は、第12週から緩やかな減少が続いている。一方、先週から今週にかけて、GWにより定点医療機関の診療日数が少なく、流行を過小評価している可能性があり、引き続き発生動向を注視したい。